



盛り上げよう岩手国体 会場地を結ぶP R 駅伝

2016年に開かれる「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」のP R 駅伝（県庁走友会主催）は7月19日、県北地域で行われました。この駅伝は、県北10市町村の会場23カ所をマラソン愛好者がリレーし、いわて国体に向けて地域の機運を盛り上げようと実施されたものです。

本町では、葛巻走友クラブや町職員など17人のランナーが参加。軟式野球競技会場の総合運動公園から、ネオホッケー競技会場の社会体育館を経由し、黒森橋までの8.5kmを力走。沿道の町民の激励を受けながら懸命にたすきをつなぎました。このほか、社会体育館では達増知事からのメッセージ伝達が行われ、鈴木重男町長が受領しました。

国道281号線を力走する葛巻走友クラブのメンバーら



みんなで飲んで活性化 ワイン&ビールまつり

まちなか活性化協議会（吉澤信光会長）主催の「くずまきワイン&生ビールまつり」は7月26日、J Rバス葛巻駅構内で開かれ、来場した約1,700人がくずまきワインと生ビールを思う存分満喫しました。

ずらりと立ち並ぶ屋台村、ステージでは「Tommy's Club Band」のライブなどが行われました。この日消費されたビールは歴代2番目に多い530%。ワインも58%が消費され、参加者は真夏の熱い一日を楽しみました。

今回は、くずまきワイン「ハナヴィーノ」とペアレンビール「ハナビール」の販売も行われ、売上げの一部が被災地での花火打ち上げを支援する活動へ寄付されました。

「かんぱ〜い！」の発声が元気に響き渡りました

日本一の歌声に大歓声 不来方高校が合唱披露

教育委員会主催の不来方高校音楽部（和田南部長、部員35人）によるコンサートは7月26日、葛巻小学校体育館で行われ、町内の児童生徒ら約450人が日本一の歌声に酔いしれました。

同音楽部は全日本合唱コンクールに19回出場。最高賞に当たる文部大臣奨励賞を3回受賞するなど全国レベルで活躍しています。この日は合唱曲のほか、わらべ歌やアニメソングなど18曲を披露し観客を魅了しました。

村木咲音さん（葛巻小6年）が「歌声がとてもきれい。表情や動作も素晴らしく見習いたいと思います。心に残る演奏をありがとう」と感謝の言葉を述べました。



美しいハーモニーを響かせる不来方高校の音楽部

定住と新婚生活を応援 8世帯に奨励金を交付

7月15日、若者定住奨励金と新婚ライフサポート金の交付式が役場で行われ、7世帯18人が出席。和やかな雰囲気の中で、鈴木重男町長からそれぞれの世帯に奨励金とサポート金（くずまき商品券）が贈られました。

鈴木町長が「葛巻では中学生以下の医療費無料化など、安心して子育てができる町づくりに全力で取り組んでいます。町の魅力を町外に発信してほしい」とあいさつしました。

昨年4月に移住、同6月に結婚した加賀谷一真さん（29歳、山岸）は「葛巻は地域のつながりが強く安心して過ごせる町と実感しています。奨励金は生活費として大切に使用させていただきます」と感謝しました。



鈴木町長から奨励金を受け取る加賀谷さん一家



郷土資料展示室を見学 先人の知恵や技を学ぶ

町公民館主催の郷土学講座「郷土資料展示室に見る町の歴史」は6月27日、葛巻小学校3階の展示室で行われ、参加した9人が町の郷土史に理解を深めました。

この展示室には、町内で昔から使われていた道具や衣装など約600点が6つの展示室に所狭しと並べられています。町文化財保護委員の長岡功さん（田子）が、当時の生活の様子や道具の使い方などを分かりやすく解説。参加者は昔の生活を思い出しながら、感慨深げに聞き入っていました。

山下精之さん（新町）は「自分が昔、使っていた道具も展示されていて見に来て良かった。これからも見学の機会を多く設けてほしい」と昔の生活を懐かしんでいました。

「住まい・民具」の展示コーナーで町文化財保護委員の長岡さんから説明を受ける参加者



幻想的な光の舞に歓声 元木地区ホテル観察会

7月12日、元木地区でホテル観察会が行われ、小屋瀬小や小屋瀬中の児童生徒と保護者ら約20人が参加し、水辺を飛び交うホテルの幻想的な光を楽しみました。

滝沢市のホテル探検隊（齋藤政宏リーダー）のメンバーが「元木地区はゲンジ、ヘイケ、ヒメの3種類が生息する珍しい場所。光り方の違いをじっくり観察してほしい」とホテルの生態などを説明。暗闇に飛び交うホテルを見つけた参加者から大きな歓声が上がりました。

土谷佳大くん（小屋瀬小2年）は「こんなにたくさんのホテルを見るのは初めて。とてもきれいで、来年もまた見に来たい」と目を輝かせていました。

ホテルを手のひらに乗せて種類の違いや光り方などをじっくり観察する子どもたち